

等級及び職制上の段階ごとの職員数(平成30年4月1日現在)

行政職給料表(一)

職務 の級	基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階			
		(人)	(%)	職名	(人)	(人)	(%)	段階	
1級	消防士及び消防副士長の職務	24	23.08%	係員	24	24	23.08%	係員級	
	主事の職務(事務職員)	0		計	24				
2級	消防士長の職務	18	17.31%	係員	12	18	17.31%	係員級	
	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務(事務職員)	0		主任※1	6				計
3級	消防司令補の職務	22	21.15%	係長	4	22	21.15%	係長・主任級	
	主任の職務(事務職員)	0		統括主任	10				主任
4級	高度の知識又は経験を必要とする消防司令補の職務	21	20.20%	課長補佐	8	21	20.20%	課長補佐・係長級	
	係長の職務(事務職員)	0		係長	13				計
5級	消防司令の職務	12	11.54%	課長	3	12	11.54%	課長・課長補佐級	
	主幹及び課長補佐の職務(事務職員)	0		出張所長	1				主幹
6級	高度の知識又は経験を必要とする消防司令の職務	3	2.88%	課長	2	3	2.88%	課長級	
	課長の職務(事務職員)	0		分署長	1				計
7級	消防司令長の職務	3	2.88%	次長	1	3	2.88%	次長級	
	特に高度の知識又は経験を必要とする課長の職務(事務職員)	0		消防署長	1				副署長
8級	消防監の職務	1	0.96%	消防長	1	1	0.96%	部長級	
	合計	104		100.0%	計				1

※1 平成29年4月1日前において消防士長の階級で主任の職にある者で、同日以降も引き続き消防士長の階級にあって主任の職名を用いている職員